

令和 8 年 6 月 23 日
(一財) 3.11 伝承ロード推進機構

台湾の高雄市教育関係者を招請したアンケート結果がまとまりました

当機構では、台湾においても震災伝承施設を防災教育に活用していただくため、台湾の教育関係者を招請し、震災伝承施設等に案内する事業を行っています。このたび、招請事業に参加者した高雄市教育関係者のアンケート結果がまとまったので報告します。

1. 招請事業概要

- 1) 期 間 令和 8 年 5 月 20 日 (水) ～令和 8 年 5 月 25 日 (月) 5 泊 6 日
- 2) 行 程 宮城県/仙台空港→仙台市→松島町→南三陸町→岩手県/大船渡市→陸前高田市→花巻市→関市→平泉町→宮城県/仙台市→名取市→仙台空港
- 3) 参加者 高雄市立仁武高級中學、高雄市立前鎮高級中學、高雄市立高雄高級中學、
國立鳳山高級中學、國立鳳新高級中學の校長 5 名
- 4) 訪問先 (カテゴリー別)
 - 震災学習 震災遺構仙台市立荒浜小学校、松島湾語り部クルーズ、南三陸 311 メモリアル、語り部による南三陸町案内、東日本大震災津波伝承館、高田松原津波復興祈念公園
 - 教育セミナー 南三陸町教育旅行セミナー、陸前高田市教育旅行セミナー
 - 学校交流 仙台育英学園高校、松島高校 (生徒による松島ガイド)、大船渡高校
 - 施設見学 陸前高田ワタミオーガニックランド、狛鼻溪、世界遺産平泉 (中尊寺・毛越寺) 西方寺、仙台城跡

2. アンケート結果のポイント

- 1) 招請事業に対する参加者評価
 - 東日本大震災から立ち上がろうと努力している姿を見て、防災教育や命の尊さを学ぶ最高の教材と感じた。
 - 震災学習と世界遺産・文化学習を兼ね備えた教育的価値の高い研修プログラム。
- 2) 教育旅行への意見等 (参加者の自由記載)
 - 防災教育や震災後の復興政策といった観点から、非常に適した行程だと感じた。
 - 積極的な防災教育をはじめ、美しい風景や心地よい環境、美食を通じて良いイメージを持った。
- 3) まとめ
 - ・今回のモニターツアーを通じて、東北で行う震災伝承、各種体験、学校交流、歴史・文化施設の見学は、台湾からの教育旅行の目的に合っていることが確認できた。一方で、限られた日程の中で多くの学びを得るには、移動時間を短くし、効率よく訪問できる行程づくりも大切である。

【アンケート結果は別添資料 参照】

《発表記者会 宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会》

----問い合わせ先----

一般財団法人 3.11 伝承ロード推進機構 (宮城県仙台市青葉区本町三丁目 2-26)
原田・石森 TEL: 022-393-4261



台湾教育関係者招請事業 モニターツアーアンケート結果

このアンケート結果は、2026年5月20日～25日（5泊6日）の日程で、台湾の高雄市にある高級中学（高校）5校の先生を招請し、宮城県と岩手県にある東日本大震災の伝承施設や国際交流に実績や関心のある高校、教育旅行セミナー、観光地などを訪問した。このアンケート結果は参加した5名の先生方に対するアンケートを取りまとめたものです。

目次

1. 行程表・参加者	1p
2. カテゴリー別「魅力的な点」と「改善点」	2p
3. モニターツアーに対する5段階評価とイメージ	6p
4. 教育旅行としての訪問の可能性、招請者の自由記載	7p
5. まとめ	8p

1. 行程表・参加者

〔行程表〕

〔参加者〕

- 1.高雄中等学校 莊福泰 校長
- 2.仁武高級中学校 余忠潔 校長
- 3.鳳山高級中学校 吳曉暢 校長
- 4.鳳新高級通学校 陳江海 校長
- 5.前鎮高級中学校 蘇清山 校長
- 6.3.11伝承ロード推進機構 2名
- 7.通訳案内士 1名
- 8..添乗員 1名

3.11伝承ロード推進機構 台湾教育者招請ツアー (2026年5月20日～5月25日)						
	月 日	地 名	到着時刻	出発時刻	日 程	宿泊先
①	5/20 水	高雄国際空港		13:25	タイガーエア台湾772便にて仙台空港へ	
		仙台空港	17:55	18:40	仙台空港空港到着後、専用車にて仙台市へ	
		仙台市	19:20		□仙台に宿泊 セレニティにて夕食	仙台市内 メトロポリタン仙台
②	5/21 木	仙台市		8:45		
			9:20	10:45	●仙台育英学園高等学校訪問【学校交流】	
			11:15	12:15	●仙台荒浜小学校	
			12:30	13:30	●鐘崎総本店笹かま館にて昼食	
		松島町	14:10		●松島高校の生徒さんの案内で松島見学	
				15:50	(福浦橋・五大堂・瑞巖寺・李登輝俳句碑・円通院)	松島
③	5/22 金		16:00	16:50	●語り部クルーズ (丸文松島汽船)【震災学習】	ホテル松島大観荘
			17:20		□松島に宿泊	
		松島町		8:00	専用車にて南三陸町へ	
		南三陸町	9:10		●南三陸町観光協会によるバス語り部	
				10:50	旧戸倉中学校 (現戸倉公民館) ～南三陸病院 (石碑) ～旧防災対策庁舎	
			11:00	11:30	●南三陸3.11メモリアル【震災学習】	
			11:40	12:00	●南三陸町観光協会によるコンテンツの説明	
		大船渡市	12:10	13:00	●季節料理「志のや」にて昼食	
④	5/23 土		14:20	15:50	●岩手県立大船渡高等学校訪問【学校交流】	陸前高田市内
			16:05	16:45	●キャッセン大船渡にてお買い物	キャピタルホテル1000
		陸前高田市	17:10		□陸前高田市に宿泊	
		陸前高田市		9:00	専用車にて市内へ	
			9:10		●高田松原津波復興祈念公園【震災学習】	
				11:00	(東日本大震災津波伝承館・道の駅高田松原・奇跡の一本松等)	
			11:10	11:40	●ワタミオーガニックランド (視察)【SDG's・体験プログラム】	
			11:40	12:30	●ワタミオーガニックランドにて昼食 (ハンバーガー作り体験)	
⑤	5/24 日		12:40	13:50	●陸前高田市教育旅行セミナー【観光コンテンツの説明等】	花巻温泉
		一関市	15:00	16:30	●猊鼻溪 (舟下り体験)	ホテル花巻
		花巻市	17:50		□花巻温泉へ宿泊	
		花巻市		8:30	専用車にて奥州市へ	
		平泉町	9:20	11:50	●世界遺産平泉 (中尊寺・毛越寺) 見学【世界遺産】	
			12:10	13:00	●芭蕉館にて昼食 (わんこそば芭蕉)	作並温泉
			13:40	13:50	休憩：長者原SA	大江戸温泉物語
			15:00	16:00	●西方寺 (定義如来)	Premium仙台作並
⑥	5/25 月	仙台市	16:30		□仙台市作並温泉に宿泊	
		仙台市		8:30	専用車にて仙台市街地へ	
			9:10	10:00	●仙台北城跡【日本遺産】	
			10:20	11:30	●震災伝承ネットワーク協議会 (東北地方整備局)【表敬訪問】	
			11:40		●商店街散策【降車：定禅寺通】	
				14:30	フリータイム (昼食含む)【乗車：広瀬通】	
		名取市	15:10	16:45	●イオンモール名取にてお買い物	
		仙台空港	17:00	19:00	タイガーエア台湾773便にて空路帰国の途へ	
		高雄空港	22:10			

〔震災学習〕

施設等	主な魅力的な点	主な改善点
仙台 荒浜小学校	・「防災意識の強化」や「自然との共生」をテーマとするのに最適。 ・被災した学校の当時の映像が印象的だった。 ・実際に被災した地域を訪れることで、今後の避難訓練で行う意義や目的を理解して取り組ませることができると思う。 ・防災の本質的な考えを学ぶことができ、改めて校長として責任の重大さを実感した。 ・遺構の状態が良く、当時の災害状況が明確に感じられた。 ・ジオラマが印象的で、たとえ街がなくなっても、皆さんの心は依然一つなのだと感じた。	・中国語表記が少ない
松島湾復興語り部クルーズ (丸文松島汽船)	・ガイドの方が、ご自身のお父様を津波で亡くされたという壮絶な体験を語ってくださり、その言葉の重みに胸を突かれ、私たちは『いのちの尊さ』についてこれまでにないほど深く考えさせられた。 ・語り部が自身の経験を話してくれ、命を守る教育の事例は本当に心を動かされ、敬意を感じた。 ・学生が船上で津波の爪痕やその力量を目の当たりにすると同時に、語り部の生の経験を聞くことができるので、必ず心を動かされると感じた。 ・遊覧船は良いコンテンツであり、観光と教育の双方の意義を兼ね備えていた。	・特になし
語り部による 南三陸町見学 (旧戸倉中・ 南三陸病院・ 旧防災対策庁舎)	・津波の高さや力量をより具体的に理解できる。大自然の力量に対して、市が保存をしていることに敬意を感じた。 ・南三陸町それぞれの地域が前に進んでいることが理解でき、震災と津波が起こった当時の全容や現地の災害状況がよく分かった。 ・南三陸町の特殊な地形と町民に代々受け継がれて来た災害を警戒する言い伝えは、次の世代に伝える価値があると思った。 ・南三陸病院は日台友好のシンボルと感じた。	・特になし
ラーニングプログラム 南三陸3.11メモリアル	・避難訓練の大切さが分かり、台湾学生の防災意識の向上につながると感じた。 ・ワークショップ形式によって、印象深い学習ができた。 ・南三陸町が地方の建設や防災設備の計画を構成に引き継いでいることが、学習面において非常に有意義だと思った。 ・積極的に防災教育の連携を図っている場所で、周辺の遺構や新しい堤防も訪れることができる。 ・津波の力量をより理解することができる。	・次回はもう少し長く滞在したい。
高田松原津波復興祈念公園	・伝承館の映像は、震災前後及び保存されている実物を照らし合わせることができるので、学生が災害をよりイメージし、所在地が被災の中心に位置していることが分かると思う。 ・伝承館では、津波の歴史から救助、再建と今後の防災教育まで、非常に良い教育設計がなされており、教育旅行のメインの一つになると感じた。 ・津波の襲来地に位置しており、周辺には「奇跡の一本松」や旧ユースホステル、集合住宅などの震災遺構が点在している。 ・津波による大自然の破壊力の恐ろしさが良く伝わった。	・特になし

〔教育旅行セミナー〕

施設等	参加者が認めた主な魅力的な点	主な改善点
南三陸町教育旅行セミナー	・民泊計画は、台湾の学生を受け入れた経験が豊富で、皆さんフレンドリーだったので、教育旅行として最も魅力的だと思った。 ・プランの内容や、ホームステイの受け入れ体制、具体的な体験項目が明確で、よく理解できた。 ・南三陸町のエデュケーション旅行受入体制が整っていることが分かった。 ・説明内容が明確だった。	・特になし
陸前高田市教育旅行セミナー	・岩手県立高田松原津波復興記念公園は防災教育及び生命教育にとって最適な場所だと感じた。 ・陸前高田市が地峡されている教育旅行プランへの理解を深めることができ、今後の台湾の生徒を対象とした教育旅行を計画するにあたり、大変有意義な機会だった。 ・ホームステイの提供が素晴らしいと感じた。 ・陸前高田市が教育旅行に力を入れていることがよく理解できた。 ・現地の復興機構の動きや推進事業をより理解できた。 ・将来学生が訪れることができるよう努力し、防災教育や命を守る教育、東北文化をより理解できるようにしたい。	・特になし

2. カテゴリー別「魅力的な点」と「改善点」－学校交流－

〔学校交流〕

施設等	参加者が認める主な魅力的な点	主な改善点
仙台育英学園 高等学校	・ キャンパスがきれいで、学校の運動設備が整っている。 ・ 部活動の種類が豊富 ・ 海外からの学生に対して独自のカリキュラムがあり、受け入れ態勢ができています。 ・ 日本の高校の編入や大学進学サポートをしてくれる。	・ 次回は実際の授業の様子が見れると良い
松島高校生徒 による松島ガ イド	・ 雨の中だったが、松島高校生徒たちの解説が素晴らしかった。 ・ 日台友好のシンボルとして、松島には李登輝先生の句碑が建てられており、観光と教育の双方の意義を兼ね備えている。 ・ 学生ガイドの内容が分かりやすく、図のカードは説明を理解しやすかった。 ・ 次回は教育旅行の中に学生ガイドを取り入れたい。学生たちは校舎での交流はないが、交流の機会になるので、きっと学生は喜ぶだろう。 ・ 瑞巖寺の豪華絢爛な内部装飾を目にし、当時の伊達政宗公の粋な美意識と偉大さに、改めて強い憧れを抱いた。 ・ 松島高校の生徒は、本当に地元愛にあふれていた。 ・ 五大堂、瑞巖寺の豊富な文化だけでなく、独自の自然景観も松島も旅行先として魅力を感じられた。	・ 特になし
岩手県立大船 渡高等学校	・ 被災地域の高校なので、学生同士が経験を共有しあうことができれば、防災意識に役立つと思う。 ・ 会談の中で二国の高校教育の文化を共有し、政策と実務はお互いの学習成長につながると感じた。 ・ 野球界のスターである佐々木朗希選手の母校であることは魅力的だった。 ・ 学校は部活運営に積極的に取り組んでおり、学生の受け入れ体制もしっかりしていると感じた。 ・ 自校の状況に関する詳しい説明に加え、質疑応答の際にも真摯に耳を傾け、的確にご回答いただけたことが大変印象的だった。	・ 次回は実際に授業や部活動の様子を視察したい。 ・ 授業の見学や学校案内があるとなお良い。

〔見学施設〕

施設等	主な魅力的な点	主な改善点
陸前高田ワタミ オーガニックランド	- 被災地で自ら起業し、新たな地域の姿を作り出す人々のたくましさは、学生にとって大きな学びになると感じた。 - 被災地における有機農業の取り組みからは、いかなる逆境にも屈しない不屈の精神を学ぶことができ、生徒に共有する価値を感じた。 - 企業が被災後もっとSDGsに積極的に取り組もうとしているところに感銘を受けた。 - 農業と観光が精巧に組み合わさっているのをみて、当時ボランティアだった方が戻ってきたという話はとても感動した。	特になし
狛鼻溪 (船下り体験)	- とてもユニークな行程だった。良い船下り体験だけでなく、壮観な自然景観と抱負の文化の奥深さを感じた。 - 雄大な景色の中、響き渡る民謡に耳を傾けながらの運玉投げは、とても心地よく風情のある体験だった。 - 日本百景にも選ばれた、ぜひ訪れたい魅力的なスポットで、教育及び観光の意義があると感じる。	- 場所とルートが旅行運営上少し不便になる可能性がある。 - 水上活動のため、催行の際は事前の安全管理や注意喚起を徹底することが大切だと思う。
世界遺産平泉（中 尊寺・毛越寺）	- 寺院は文化価値を代表しており、学生に当時の政治経済や文化背景を深く認識させることができる。 - ガイドの解説レベルが高かった。 - どちらの寺院も文化だけでなく自然景観の美しさも深くあった。 - 言葉が出ないほど煌びやかで神々しいと感じた。 - 共通の宗教文化や世界遺産を有しており、非常に訪れる価値のある場所だと感じた。 - 日本独自の精神文化が最も濃厚に表れている地の一つだと思う。	特になし
西方寺 (定義如来)	- 日本の宗教文化への理解を深め、その宗教建築を鑑賞することは、教育的価値と観光としての魅力を兼ね備え、ぜひ教育旅行で訪れたいと感じた。 - 偶然、七五三のお祝いに遭遇し、台湾とは異なる日本の美しい文化に深く魅了された。 - 西方寺と日本のその他の寺院建築は違うと感じた。	もっと西方寺のことを知りたいと思った。
仙台城跡	- 仙台の歴史を学べる遺跡だと感じた。 - QRコードにより仙台城のAR映像が見ることができ、学ぶ意義があると感じた。 - 伊達政宗が仙台の歴史で重要であるということを感じる場所で、仙台市を一望できた。	特になし

■ 5段階評価（被招請者6名の平均値）

〈5：非常にそう思う 4：そう思う 3：どちらとも言えない 2：思わない 1：全く思わない〉

1) 教育的価値が高い訪問先が多い	5.0
2) 体験学習や交流ができる訪問地が多い	5.0
3) 自然が豊かで景色を楽しむことができる	5.0
4) 文化施設が豊富で、日本の伝統文化を知ることができる	5.0
5) 食文化が豊富	5.0
6) 温泉が豊富	5.0
7) 買い物を楽しむことができる	4.6
8) 文化体験プログラムが豊富	5.0
9) バスや車での移動がしやすい	5.0
10) 公共交通機関が発達している	4.4
11) 観光地、観光資源が豊富で教育旅行に適している	5.0
12) 受入環境が整っている	5.0

■ 良いイメージ

- 東日本大震災から立ち上がろうと努力している姿を見て、防災教育や命の尊さを学ぶ最高の教材と感じた。
- 震災学習と世界遺産・文化学習を兼ね備えた教育的価値の高い研修プログラム
- 行程において高い安全性があった。

■ 悪いイメージ

- それぞれのスポットの距離は少し遠いため、うまくコースや路線を考える必要がある。
- 外の活動が多いため、天気の変化も比較的重要な懸念点になるのではないか。

■招請者による自由記載

- 防災教育や震災後の復興政策といった観点から、非常に適した行程だと感じた。
- 学校訪問を通じて、受け入れ体制や現地の学校事情について深く理解することができた。
- 松島や狢鼻溪は息をのむほど類まれなる景観を誇っており、ぜひ行程に組み込むべきスポットだと思う。
- 世界遺産である平泉は非常に訪れる価値が高い場所だった。
- 佐々木朗希選手と大谷翔平選手の母校の所在地であることは大きい魅力の一つである。
- 仙台城跡は歴史学習ができる場所だった。
- ホームステイの受け入れ体制ができている。
- 防災教育の意義があるが、内容も説教っぽくない上に学生を感動させられると思うので、ぜひ積極的に教育旅行で訪れたい。
- 防災体験や教育及び命を守る教育を主軸として、東北地方の歴史文化や寺院、温泉・民泊体験を取り入れることで、宮城、岩手地方は確実に教育旅行に適している。
- 学校訪問を通じて現地の暮らしに触れ、豊かな自然や伝統文化遺産を学ぶことは、教育旅行として非常に素晴らしいテーマが揃っていると感じた。
- 積極的な防災教育をはじめ、美しい風景や心地よい環境、美食を通じて良いイメージを持った。
- それぞれの訪問施設は高い教育意義があると思った。
- 行程が豊富で充実しており、宮城や岩手、さらに東日本大震災の被災地内外を訪れることで、それらも全て現地の重要スポットになっていると思った。
- ご当地グルメを味わい、温泉文化を体験して、また訪れたい場所だと思った。

2026年5月20日から5月25日の日程で、台湾高雄市の高級中学の校長を5名招請し、宮城県、岩手県の被災地や国際交流に実績や関心のある高等学校、世界遺産等の観光地を訪問した。

また、5泊6日という限られた日程で多くの施設を見学する時間的余裕がなかったため、南三陸町と陸前高田市において教育旅行セミナーを開催し、地域の受入事業者によるプレゼンテーションを実施した。

【アンケートまとめ】

今回のアンケートでは、震災学習、学校交流、歴史・文化施設の見学などについて、教育旅行として高い評価を得た。

- ✓ 震災学習では、命を守るための学びを通じて、防災意識を高め、避難訓練の大切さを理解する機会になるとの意見があった。また、震災遺構の見学により、津波の威力や自然災害の大きさを具体的に感じられる点も評価された。
- ✓ 学校交流では、高校生によるガイドや意見交換を通じて、互いの経験や考えを共有できることが、交流を深める機会になるとの声があった。歴史・文化施設の見学も、地域の歴史や文化を学ぶ幅広い学びにつながるとの評価があった。
- ✓ 今回のモニターツアーを通じて、東北で行う震災伝承、各種体験、学校交流、歴史・文化施設の見学は、台湾からの教育旅行の目的に合っていることが確認できた。一方で、限られた日程の中で多くの学びを得るには、移動時間を短くし、効率よく訪問できる行程づくりも大切である。
- ✓ この評価を今後の受入につなげるためには、台湾の学校や旅行会社が求める内容を把握し、地域の施設や関係機関と共有しながら、受入環境を整えていくことが欠かせない。中国語の案内資料や表示の整備、中国語で対応できる人材の育成、ガイド人材の育成や案内内容の質の向上にも取り組む必要がある。
- ✓ さらに、台湾の高級中学（日本の高校に相当）や教育旅行を扱う旅行会社に向けた情報発信を続け、学校の希望や日程に合わせたモデルコースを提案できる体制を整え、東北ならではの学びを生かした教育旅行の受入拡大につなげていくことが大切である。